(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2005-253917
(P2005-253917A)
(43)公開日　平成17年9月22日(2005.9.22)

(51)Int.Cl.[7]	F I	テーマコード（参考）
A43D 5/02	A43D 5/02	4F050

審査請求 未請求　請求項の数 1　書面　（全 3 頁）

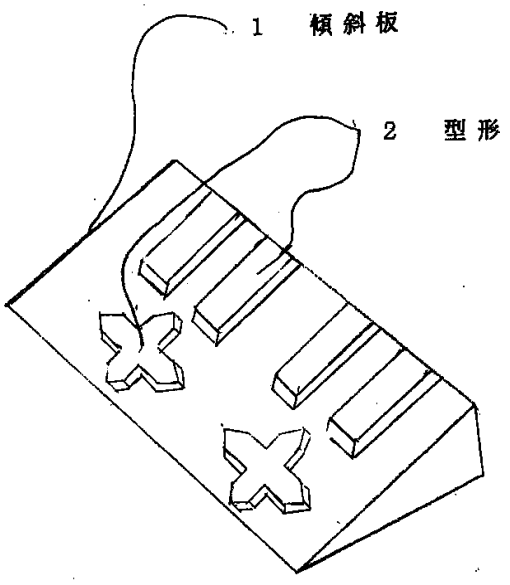
(21)出願番号　特願2004-112585(P2004-112585)
(22)出願日　平成16年3月9日(2004.3.9)

(71)出願人　591211788
阿部　冲則
岩手県北上市常盤台４丁目１３番１５号
(72)発明者　阿部　冲則
岩手県北上市常盤台四丁目１３番１５号

Ｆターム(参考)　4F050 LA01　NA22　NA90

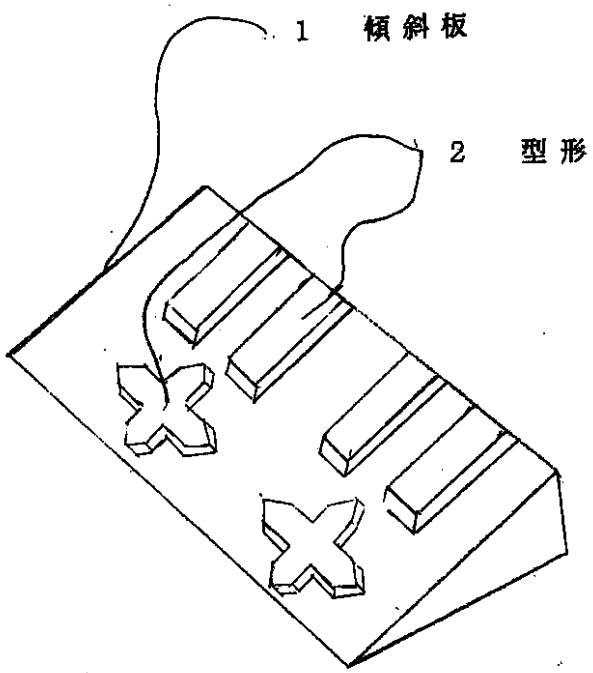
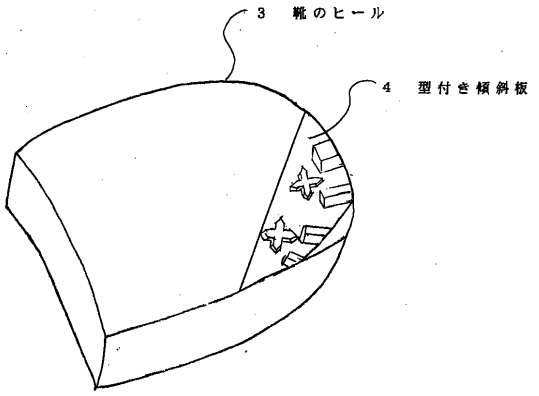
(54)【発明の名称】型付き傾斜板

(57)【要約】
【課題】　傾斜板に型形を付けた靴修理用材料を提供する。
【解決手段】傾斜板の表面を機械で加圧し、型形を付け滑りにくくした、型付き傾斜板である
尚、型形はピラミット・波形など自由に設定して良い。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
靴修理用の傾斜板の表面を機械で加圧し、型形を設け滑りにくくした、型付き傾斜板。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、傾斜板に型形を付けた、靴の修理用傾斜板に関するものである。
【背景技術】
【０００２】
従来、傾斜板は模様程度型のものがあった。
【発明の開示】
【発明が解決しようとする課題】
【０００３】
そのために、次のような問題点があった。
イ、型がないので踵の修理をしても滑りやすかった。
ロ、型底の靴に型のない傾斜板を使うため違和感があった。
本発明は、これらの問題を解決するためになされたものである。
【課題を解決するための手段】
【０００４】
傾斜板の表面を機械で加圧し、型形を設け滑りにくくした、型付き傾斜板である。
【発明の効果】
【０００５】
深い型があるため、滑りにくく、きわめて安全である。
【発明を実施するための最良の形態】
【０００６】
以下、本発明の実施形態について説明する。
（イ）傾斜板（１）表面に型形（２）を設ける。
本発明は、以上のような構成で、これを使用するときは、靴のヒール（３）の傾斜減りしたところに図２のように型付き傾斜板（４）を接着する。その後何ヶ所か釘打ちしてもよい。
【図面の簡単な説明】
【０００７】
【図１】本発明の写視図
【図２】本発明の実施例を示す斜視図
【符号の説明】
【０００８】
１　斜視板
２　型形
３　靴のヒール
４　型付き傾斜板

【図１】



【図２】